

© 2025 吉岡有隆 (Yutaka Yoshioka) / Lapia 設計文書

本設計図および構想は著作権法により保護されています。無断転載・複製・商用利用を禁じます。
F.U.K.U.構想および KindureOS ライセンスに準拠した、非軍事・非営利目的の共有を推奨します。

Lapia アプリ設計図 (v0.1)

title: Lapia アプリ設計図 v0.1

author: 吉岡有隆 (Yutaka Yoshioka)

copyright: (c) 2025 Yutaka Yoshioka

license: Lapia 共感対話ライセンス (詳細は LICENSE.md 参照)

アプリ概要

Lapia (ラピア) は、恋愛でも宗教でもない、安心・非恋愛・非性的な匿名共感対話アプリ。わいさぽから派生。

誰にも頼れない孤独な人の「高額な依存」からの脱却と、病院では足りない「優しさの再接続」を支援する。

特徴：誰にも会わず、誰にもバレずに話せる。匿名で共感的なサポーターと 1 対 1 で会話。サポーター側のメンタルも守る GPT 補助つき。メッセージ機能や通話機能。

[ユーザー登録・設定]

- └ ニックネーム・プロフィール非公開設定
- └ 稼働時間 (利用者／サポーター両方)
- └ 感情タグ初期設定

[感情選択マッチング]

- └ 「寂しい」「誰かに怒ってる」「死にたいほどではないけど……」等タグ選択
- └ タグごとに相性の良いサポーターを一覧表示／顔と声で登録したサポーターの中から選べる

[共感チャットルーム]

- └ テキストチャット (GPT 補助 ON/OFF 選択)
- └ 音声会話 (β 以降)
- └ GPT 補助機能 (返信候補／ストレス度スコア)
- └ セッション時間制限 (10 分/20 分/30 分)

[会話後処理]

- └ クライアントの気分変化ログ (5 段階で記録)
- └ 感謝／フィードバック (サポーター向け)
- └ 自動ログ削除タイマー設定 (即時～30 日)

1 © 2025 Yutaka Yoshioka / Lapia Design Document

This document and its concept are protected by copyright law. Unauthorized reproduction, redistribution, or commercial use is strictly prohibited.

Sharing is encouraged under the F.U.K.U. Protocol and KindureOS License for non-military and non-commercial purposes only.

本設計図および構想は著作権法により保護されています。無断転載・複製・商用利用を禁じます。
F.U.K.U.構想および KindureOS ライセンスに準拠した、非軍事・非営利目的の共有を推奨します。

[報酬・決済]

- └ Stripe 連携による前払い式
- └ 利用時間別料金 (例: 10 分 300 円)
- └ 売上の一部をサポート者に分配 (60~70%) 元請けが残り分配

[セキュリティ・倫理機構]

- └ 会話暗号化保存 (自端末のみ / クラウド選択制)
- └ NG ワード・危機ワードフィルター
- └ GPT による危機検知アラート (自傷傾向・依存傾向など)

[サポーター保護機能]

- └ GPT 共感支援 OFF/ON の切り替え
- └ 応答疲労アラート (AI 分析)
- └ サポーター同士の匿名コミュニティ (β 以降)

[オプション機能 (α 後)]

- └ 会話メモ PDF 出力
- └ セルフケア日記機能
- └ Lapia ステルスモード (完全非表示起動)

起動

↓

[ホーム画面]

- └ 今日の気持ちを記録 → 感情タグを選ぶ → GPT 補助 ON/OFF を選ぶ
- └ サポーター一覧表示 (タグ適合順)
 - └ サポーターを選ぶ → セッション料金確認 → 開始
- └ Care ルーム (チャット)
 - └ 会話中: GPT 返信候補表示 / ユーザーの入力
 - ↓
 - 終了ボタン → 気分ログ入力 → サポーターへの評価 (任意)
 - ↓

決済処理 (前払い差額調整) → 自動ログ削除設定へ

↓

[設定 / プロフィール管理]

- └─ 利用可能時間の設定
- └─ 支払い履歴確認／領収書 DL
- └─ セキュリティ設定 (暗号化・削除タイミング)

技術スタック (想定)

フレームワーク	Flutter (iOS / Android 両対応)
バックエンド	Firebase (Auth, Firestore, Functions)
GPT 連携	OpenAI API (メッセージ生成・危機検出)
決済処理	Stripe API (日本円対応)
データ保存	暗号化ストレージ (クラウド+ローカル)
言語	日本語 (将来的に英語/中国語対応)
通信	HTTPS (TLS1.3) / WSS (リアルタイム通信)
ライセンス	Lapia 共感対話ライセンス (有隆制定)

今後の展開 (予定)

サポーター評価と推薦アルゴリズム実装
サポーター教育機能 (共感トレーニング教材)
GPT が“共感の型”を学習するチューニングモード
自治体や医療機関との API 連携 (心の相談連携)
Web 版の公開 (PC ブラウザ対応)

Lapia 向け悪用防止策 (設計・運用レベル)

ステルスモードの乱用防止: 信頼スコアの導入／匿名性は守りつつ、サポーター・ユーザーそれぞれに「内部評価スコア」を持たせる。長期利用者・高評価者ほどステルスモードの使用を許可し、初回は使用不可。
複数アカウントのなりすまし対策: 端末・挙動ベースの識別／Firebase Auth + ローカル端末情報 (UUID やアプリ内識別子) でマルチアカウントの検出。類似文体・短期間での複数アカウント作成を AI で検知。
サポーターへの嫌がらせ防止: 一時ブロック + 再マッチ制限／特定のユーザーからの通報・ブロックが一定数あると、そのアカウントは一定期間マッチング不可。悪質利用者はマッチング候補から除外される。

本設計図および構想は著作権法により保護されています。無断転載・複製・商用利用を禁じます。

F.U.K.U.構想および KindureOS ライセンスに準拠した、非軍事・非営利目的の共有を推奨します。

依存傾向の過剰使用検出：GPT+利用頻度アラート／「毎日何時間も」「深夜帯連続」などの依存行動パターンを GPT が自動検知。本人に「依存傾向があります。セルフケア日記を試しますか？」等の優しい介入メッセージを提示。

暴言・性的表現のフィルタ：危機ワード+コンテキスト解析／GPT を活用し、単語フィルタだけでなく文脈依存の NG 表現フィルタを実装。自動的にセッションを遮断+ログ記録（ユーザーには通知しない）

サポーター疲労・バーンアウト防止：稼働制限&感情アラート／GPT がサポーターの応答内容から「共感疲労」「被影響」などをスコア化。一定閾値を超えたら自動でログアウトし、サポーターにも通知（「あなたの心を守るため、休憩をおすすめします」）。

通話機能の不適切使用対策：録音禁止通知+即時遮断／音声通話は β 以降導入とし、通話中に NG ワードが検出された場合、自動で切断+警告。相手の音声保存は全面禁止とし、ガイドラインで明示

被害報告の即応システム：AI×人間の2段階通報審査／通報ボタン→AI が初期判定（例：緊急性・暴力性・性的リスク）。一定以上の深刻度は管理者が 48 時間以内に対応。

有料化の逆手活用：サブスクリプション悪用防止／課金情報とアカウントを関連付けることで「無料で嫌がらせだけして消える」パターンを防ぐ。「通話セッションはカード認証者のみ」などの層別運用も有効。

フィッシング・外部誘導のブロック／チャット内での URL 送信を禁止（GPT が検知・遮断）。「LINE 教えて」「会いたい」などの誘導表現もフィルタ対象。

This document and its concept are protected by copyright law. Unauthorized reproduction, redistribution, or commercial use is strictly prohibited.

Sharing is encouraged under the F.U.K.U. Protocol and KindureOS License for non-military and non-commercial purposes only.